

楽しさ自給率の高いまちへ

だい

広報
DAISEN

せん

2019
No.196
12

主な内容

大山町総合防災訓練	2-3
みんなでやらいや！協働のまちづくり	4-6
地域おこし研究員着任	7
健康アンケート結果	8
きょういく通信	9-13
うるおい通信	14
人権のつぼ	15
まちの話題	16-17
お知らせ	18-25



「みんなが主役！
大山町総合文化祭」

町内中学校の吹奏楽部が合同演奏を披露しました。
(関連記事は12ページ)

土砂災害に対する

防災訓練を実施



▲一時避難所に集合（梶原）



▲消防団による土のう設置（旧奈和）

防災訓練 梶原・旧奈和・門前に避難勧告

11月4日に梶原、旧奈和、門前集落で土砂災害を想定した防災訓練を行いました。

当日は、保健福祉センターなどで、鳥取県西部町村合同避難所運営訓練も兼ねて行い、県西部の7町村から約30名の職員が訓練に参加しました。

大山町災害対策本部では、町指定避難所を開設するための職員が不足しているため、西部町村に応援派遣を依頼。各町村から派遣された職員と協力し、町指定避難所の開設及び避難者の受け入れ、運営にあたり

いう想定で、この運営訓練は平成28年から各町村を会場に行っています。

今回の訓練は、梶原、旧奈和、門前集落の皆さんをはじめ、大山町消防団や、琴浦大山警察署、大山消防署、赤十字奉仕団、社会福祉協議会が参加しました。

内容は、豪雨により土砂災害の被害が発生する可能性が高いことから、「警戒レベル4（避難勧告）」の発令や、土砂災害発生による「警戒レベル5（災害発生情報）」を発令しました。

町指定避難所へ避難された住民の



▲赤十字奉仕団による炊き出し



▲避難所で健康状態のチェック



▲目録を受け取る竹口町長



▲段ボールベッドは意外と丈夫

皆さんには、避難所スペースでの生活や、段ボールベッドを協力して作る等の体験をしていただきました。

訓練終了後には、非常用トイレの贈呈式が行われ、株式会社ホクコン山陰営業所（前田明広所長）から非常用トイレ「ラクレット」が、大山町へ寄贈されました。

また、大山消防署長、日野ボランティアネットワーク山下弘彦コーディネーターによる講評、講演が行われました。



▲安心・安全に避難できる避難所のために（講演）



▲集落で協力して、居住スペース作り

◆総務課

参加された方からのご意見やご指摘は、今後の訓練にいかしてまいります。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

☎ 0859・54・5201

- 【参加者の感想】**
- ・段ボールベッドを作成でき、いい体験ができた。
 - ・避難には地域の協力や思いやりが重要だと感じた。
 - ・訓練の必要性や、避難方法等について、改めて考えることができました。
 - ・何をすればいいか、よくわからなかった。
 - ・避難所内の情報伝達が少ないと思った。





みんなでやらいや！ 協働のまちづくり

今月は『大山の里所子』『まちづくり大山』『かくわの郷 庄内』です。

地域自主組織『大山の里所子』発足！
「集う・つながる・やってみる」の循環から困りごとの解決を

10月20日に地域自主組織「大山の里所子」設立総会が、保健福祉センターだいでんで行われました。

総会には、来賓として竹口町長、杉谷町議会議長、まちづくり大山の馬田会長、ふれあいの郷かあら山の汐田副会長をお招きし、22の集落の代表者で構成される評議会により地域自主組織「大山の里所子」が承認され、スタートを切りました。

前身のまちづくり所子地区会議では、平成24年度から防災フェスタ、25年度からは、海岸清掃を継続してきました。その間、『大山口農具市』や『納涼の夕べ』への協力も並行して行い、所子地区のまちづくり委員の7年の活動実績を踏まえて検討してきた結果、自主組織設立の運びとなりました。

活動のテーマは、「集う・つながる・やってみる」です。集まる場が重要となりますが、このテーマに沿って、継続できる取り組みを進め、楽しめる環境づくりを行い、困りごとの解決につなげていくことを目指します。

また、平成30年にはアンケート調査を実施し、地域の現状、将来への不安、地域の皆さんが望むことややりたいことなど、アイデアをたくさん頂戴しました。地域自主組織「大山の里所子」では、アンケート内容を実現するには所子地区の皆さんと一緒に取り組みを進めていくことが重要だと考えています。

今年度と来年度は、本格的スタートへの準備期間と位置づけ、まずは、みなさんの声を聞き、集め、活動の場を提供していきたいと考えています。また、所子地区は、分譲住宅の建設により世帯数が増え、賑わってきました。この地域に、こんな機能があつたらより便利になるという声もお寄せください。一緒に活動し、住みよい所子地区を作りましょう。委員も募集中ですのでお気軽にご連絡ください。

◆問い合わせ先
企画課

☎0859・54・5202

『まちづくり大山』 大山診療所を核とした地域づくりを

大山地区では現在、約1800名の住民が大山の恵みを受け、助け合いながら暮らしています。地域には、医療機関（大山診療所）、教育機関（大山保育所・大山小学校）、金融機関（J・A・郵便局）、買い物する場としてコンビニがあります。どの施設も暮らしていくには欠かせないものですが、特に、大山診療所は地域住民にとって重要な施設です。

大山診療所は昭和14年に大山村営



▲健康を語る会を開きました

診療所として開設され、以来80年にわたり、地域住民の医療と健康を守ってきました。しかしながら平成18年に常勤医が定年退職され、以後固定医が確保できず、鳥取大学医学部から医師の派遣を受けて運営されてきました。

平成26年頃から、町議会や地域などを中心に、赤字が続く大山診療所の存続を巡って議論が交わされはじめました。

診療所の存続を願う「まちづくり大山」と区長会は、存続に向けた署名活動を行い、約1200筆の署名を集めました。平成27年3月、町長と町議会に存続に向けた請願書を提出し、結果、当面の危機は回避されました。このことをきっかけに「まちづくり大山」では、改めて大山地区から医療機関がなくなるといふことは、地域崩壊に繋がることであるとの危機意識をもち、診療所存続について自分たちで何かできることがないか検討を重ねました。

平成28年に『健康フェスタ』を開催し、骨密度測定・血圧測定・健康相談を行い、健康に関する意識向上

と診療所の利用を訴えました。翌年には、鳥取大学医学部と連携し、『健康を語る会』を3回シリーズで開催しました。「病気になるらないために」、「病気になるたら」、「家庭での治療と介護について」をテーマに学習し、参加者の皆さんから好評をいただきました。

平成30年も鳥取大学医学部と連携し、各集落に向いて「自分らしく暮らし続けるために・医療と介護を考える」をテーマに、総合診療医の朴先生（現在診療所所長）の講話と住民参加のワークショップを5集落で開催し、自分たちの健康や暮らしについて、地域の課題等意見交換をしました。先生と身近に話せることもあり、大変有意義でした。また、それぞれの集落の良い所や課題等を知ることでもできました。

このような取り組みを行う中で、平成31年4月から大山診療所は、『鳥取大学家庭医療教育ステーション』を併設し、引き続き鳥取大学から総合診療医の朴先生に赴任いただいています。医学生が地域医療について学ぶ機能が加わったことで、従来の地域医療の拠点機能だけでなく、新たに、小児から大人まで診ていただける体制が整えられました。今後は、大山診療所が身近な医療



▲今在家で行われた健康講座

機関（かかりつけ医）として、また、地域医療の拠点として機能するためにも、私たちは、大山診療所・鳥取大学医学部と連携した取り組みを継続し、診療所・住民・行政による意見交換を行い、診療所の利用を考え、皆が健康で安心して暮らせる地域づくりを目指します。

◆問い合わせ先

まちづくり大山事務局

☎0859・53・8139



▲海岸には毎年多くのごみが打ち寄せられます

『かくわの郷庄内』

身近なことからが第一歩！

今年で5年目を迎えた地域自主組織「かくわの郷庄内」です。私たちの組織は、総務部、イベント事業部、交流部、環境事業部の4部会で活動しています。

今回は、清掃活動を主体とした環境に関する事業を行う環境事業部の活動を紹介します。

海岸一斉清掃

大雀海岸や富長海岸には、発泡スチロール、ペットボトル、プラスチック容器や車のタイヤなど、石油由来の腐らないごみが大量に打ち寄せられています。これらは日本のものだけでなく、海流に乗って漂着したと思われる外国語表示のごみも目に付きます。地域住民のボランティア活動として、毎年7月下旬の日曜日に漂着したごみの回収活動を行い、きれいな海岸に戻しています。1年経つとまた同じようにごみが散乱した状況になってしまいます。今後もしきれいな環境を保つ取り組みを継続します。

ふれあいクリーンウォーク

地区内の幹線道路沿いのごみを拾うだけでなく、健康ウォーキングと庄内地区の再発見を兼ねて実施しています。捨てられているごみは、空き缶や空き瓶、ペットボトル、コンビニ弁当容器など様々ですが、電子レンジや洗濯機というような家電製



▲海岸一斉清掃ではマイクロプラスチックが問題となる中、プラスチック類を中心に収集しました

品も捨てられていることがあるので驚いてしまいます。

ごみを拾って地域をきれいにし、地元の人々もあまり知らない地区内の名所旧跡等の解説を聞ける、有意義な清掃活動です。

いずれの活動も参加者の美化意識やボランティア意識を高揚するねらいがありますが、世界中の人々が自覚し、自分たちが出したごみを適正に分別・処理しさえすればやらなくてもいい活動です。

環境問題は地球規模で考え、地域で行動しなければ解決しないと言われていきます。私たちの活動が地区内外の多くの人々に共感してもらえ

は幸いです。

旧庄内小グラウンド清掃

かくわの郷庄内は、庄内地区区長会とタイアップして、『庄内地区ふれあい健康まつり（地区運動会&飲食実演販売）』を毎年行っています。住民ボランティアにより、6月と9月の年2回、グラウンドや駐車スペース等の除草や芝刈り作業を行い、イベント当日に備えています。会場となる旧庄内小学校グラウンドには2年前に芝生を植えました。今後は、グラウンドゴルフ等、様々なスポーツイベントの会場としても活用していきます。

◆問い合わせ先

かくわの郷庄内事務局
kakuwa-shonai@sea.chukai.ne.jp
ホームページもご覧ください。

QRコード



地域おこし研究員(協力隊)着任

大山町に 慶應義塾大学の 大学院生来る!

こんにちは。今年度より大山町の地域おこし研究員に着任した松浦生(まつらまこと)です。

地域おこし研究員とは、大山町が慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスとの連携協定に基づいて設けている制度で、「大学院生」と「地域おこし協力隊」の2つの立場(身分)を持ち、「研究」と「実践」の双方から、地方創生に貢献する活動を行います。

具体的には、「大学のない地域で、週末に大学生が暮らす仕組み」づくりを行いたいと考えています。大学生が週末のたびに集落で生活したり、イベントに参加したり、自らプロジェ

大学生を泊めてくださる方、
大学生と楽しく学びたい小・
中・高生を探しています!

いく生という
めずらしい名前なので、
覚えてください



いく生です
松浦



▲中学生たちと真剣討議中

クトを企画したりすることを通じ、大山町に活気をもたらすとともに、特に小中高生にとって身近な、人生のロールモデルにしてもらえるのではないかと思います。

私は、東京都郊外の日野市で高校までを過ごしましたが、地方に可能性を感じたこと、また、釣りや登山が趣味ということもあり、公立鳥取環境大学に進学しました。大学2年生時から、鳥取市用瀬町で、全国の大学生が地域の暮らしに溶け込みながら、小さなチャレンスを積み重ねていく仕組みを作り、その実践として、宿泊施設を運営しながら地域と大学生をつなぐ「もちがせ週末住人」という活動をしてきました。そして、

今年3月に大学を卒業し、慶應義塾大学院政策・メディア研究科に進学するとともに、大山町の地域おこし研究員に着任しました。

2019年4月から7月までは、神奈川県藤沢市にある慶應藤沢キャンパスで大学院の授業を受けていましたが、大山町には8月から移住し、役場企画課で働いています。まずは、大山町の暮らしを深く知るために、町内の様々な場所やイベント等に参加させていただいています。ロケーションはもちろんですが、大山町の一番の魅力はやはり、地域に根差し暮らしておられる方々の人生そのものだということを毎日実感しています。

「もちがせ週末住人」での経験を活かしつつ、大山町では事業者や農家、漁師、地域自主組織のみならず、さまざまな市民のみならずのご意見とご協力をいただきながら、新しい「だいせん週末住人」モデルをつくりたいと思います。大学生に経験してほしいことや、協力してほしいことなど、ご意見やご協力いただけたことがありましたら、どしどしお寄せください! よろしくお願いいたします。

◆問い合わせ先

企画課 ☎0859・54・5202

大山町民総健康づくり運動

「健康」に関する住民アンケートの結果をお知らせします

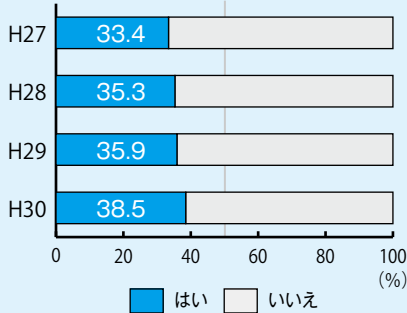
大山町・筑波大学(株)カーブスジャパン(平成30年度調査より)



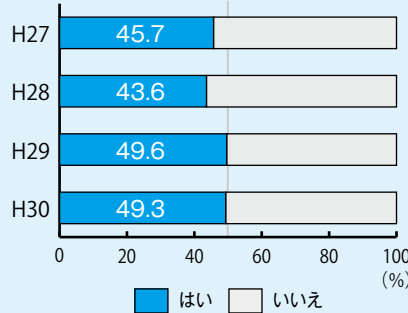
大山町では、平成27年度(令和元年度の5年間(全5回)、毎年40歳から74歳の1,100人(男性600人、女性500人)を無作為抽出して、健康に関するアンケート調査を行っています。この調査は町やカーブス大山町健康センターの取り組みが、健康意識の向上や医療費等の低減にもたらす効果を検証するものです。今年度が最終年度です。

今回は、平成30年度に実施した結果(単純集計)を一部抜粋してお伝えします。

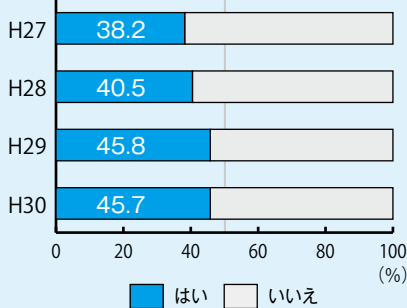
自分の健康を保つために必要な運動ができている



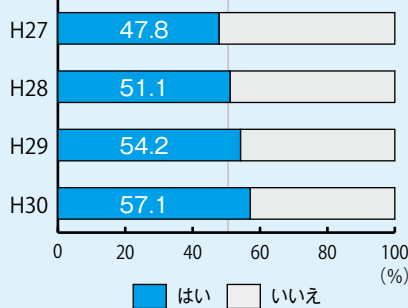
運動や食生活等の生活習慣を改善しはじめている、取り組んでいる



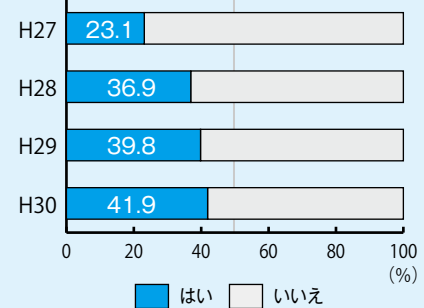
日常生活で歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している



健康的な生活を送るために自分なりにいろいろな工夫をしている



1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している



調査にご協力いただき、ありがとうございました。

対象者 1,100人(平成30年度)

回答者 752人
(男性391人、女性361人)

回答率 68.4%

出典：株式会社つくばウェルネスリサーチ
「鳥取県大山町における健康づくり事業検証」単純集計報告書(平成31年3月)

平成27年度(平成30年度の経年の変化をみると、運動習慣のある人の増加、健康的な生活の工夫をしている人の増加がみられ、健康意識へのよい変化がみられています。

今後さらに結果を分析し、大山町の健康づくり施策に活かしていきます。

◆問い合わせ先
健康対策課

☎0859・54・5206

祝！歴史の道百選に選定追加 「坊領道」紅葉ウォーク

大山公民館大山分館

11月3日に紅葉ウォークを行い、歴史の道百選に追加選定（10月29日）された坊領道を歩きました。

大山農村環境改善センターを出発し、前集落の「木造阿弥陀如来坐像（県指定保護文化財）・飯戸集落の両墓制を見学した後、種原バス停入口から落ち葉で埋もれた大山道の古道に入りました。その昔、大山寺への

参詣や牛馬を連れて大山牛馬市へ向かった人々に思いを馳せながら歩きました。

大山古道（坊領道）は、平成26年頃から「まちづくり大山」の手によって毎年整備されています。現在は、ウォーキングイベントや、小学校や大山青年の家の活動にも使われています。



▲紅葉ウォーク

名和公民館に新サークル誕生！ DAISENSZスズメーズの 『ヴォイスヨーガサークル』

◆活動内容

ヴォイスヨーガは、ストレス緩和や表現能力向上につながります。本来の声を輝かせてみませんか？

◆活動日時

毎週水・金曜日
18時～19時

◆活動場所

中山温泉生活想像館

◆連絡先

代表 谷川 豊

☎ 090-7133-2724

「だいらせんげんきつ子」

大山の雄大な自然に囲まれて

大山保育所

子どもたちに、園庭からとび出して、様々な場所で多くの体験をさせたいと考え、春は妙見山や大山元谷の山登り、夏は坊領川の川あそび、秋は佐摩山から尾根を歩いて孝霊山への登山など、四季を通じて自然の中へと出かけて行きました。心も体も開放することは、子どもが本来持っている自ら学び成長しようとする力を育み、好奇心が自然の中で無限に広がっていきます。

山々が紅葉を迎える頃、大山へ遠足に出かけると、下山キャンプ場の遊歩道に落ちているどんぐりを子ども

もたちは夢中で拾っていました。また、「ここにもあるよ！」と落ち葉やきのこ、木の実を見つけ、「不思議だ」「面白い」と感じたものをカメラに収めたり、帰りに大山自然歴史館に寄り、見つけたきのこや植物を図鑑で調べたりしました。

10月の中旬には、年長児が佐摩山から孝霊山への登山に挑戦し、「まちづくり大山」の皆さんと一緒に山頂までの険しい道のりを歩きました。落ち葉が広がる滑りやすい場所や急な斜面、倒木や苔の生えた岩など、子どもたちにとっては様々な難所がありました。しかし、頭と身体全体の感覚を使い、「滑りやすいから横向きになるう」「お尻をついて降りたらいいよ」などと声を掛け合いながら、みんなで登りきり、自然の中の直接体験によって達成感や満足感を味わいました。



▲佐摩山登頂・なかなかの景色だね！

自然は子どもたちにとって格好の遊び相手です。大山の雄大な自然に囲まれた保育所として、今後も地域の皆さんと共に大山保育所の「げんきつ子」の成長を見守っていきたくて考えています。



デメキュラ市訪問記

7月24日～8月4日までの日程で、大山町姉妹都市アメリカのデメキュラ市を中学生7人が訪問しました。交流事業の感想文の一部を紹介します。

名和中 2年

船木 大知

ストファミリーに会いにアメリカへ
行きたいです。

中山中 3年

奥野 結衣

デメキュラ市での研修で最も印象に残っているのは、ホストファミリーの優しさです。研修中に僕が頭痛で寝込んでいるときに、部屋に食べやすいものを持ってきてくださったたり、「どこか行きたいところはある?」と聞いてくださり、僕が希望したところに連れて行ってくださったりとたくさんさんの事をしてくださいました。来客者がどこの国の出身の人でも、しっかりと対応するという精神は、「人種のるつぼ」であるアメリカから日本もしっかりと学ばないといけない部分だと思いました。2020東京オリンピックを契機に日本の「おもてなし」の心がクローズアップされていきますが、「おもてなし」の心は万国共通なんだなあと思いました。

デメキュラ市での研修は確実に自分の将来に役立つと思うのでしっかりと記憶に残し、大人になったらホ

私が小学生の頃、沖縄との交流事業に参加した時に、当時デメキュラ市との交流事業に参加した中学生が教育委員会でする挨拶を聞く機会がありました。私はその時に初めて、このデメキュラ市との交流事業について知りました。その時からこの交流事業に参加してみたいと思ったことや、堂々と教育委員会で挨拶をする先輩方がとてもかっこ良かったので自分もそんな人になりたいと思いました。

実際に参加できると決まってから、私はデメキュラに早く行きたいと毎日うずうずしていました。スピーチやプレゼンの練習を友達、家族に手伝ってもらいながら磨き上げたり、アメリカのことについて事前に調べ

たりしました。

アメリカに着いてからは、見たことのないもの、知らないものなどがたくさんありました。その中で特にチャンピオンフィールドでキックボールをしたことが印象に残りました。キックボールでは、他のバディー学生とたくさん交流できました。一緒にお菓子を食べながらお互いのことをほめ合ったりして、自分でも驚くくらいスムーズに会話することができました。アメリカの人々はジェスチャーを使って私の知らないことをたくさん教えてくださいました。



中山中 3年

野口 結衣

私を感じた中で、日本にもあると良いなと思ったことは、寄付やボランティアのシステムです。アメリカには市民の寄付やボランティアでできている施設がたくさんありました。その中の一つがジェイコブスハウスです。ジェイコブスハウスは、家族が病気やけがで入院している人のために無償で宿泊できる施設です。病院が遠くにあり毎日通えない、旅行

中のけがでホテルに毎日泊まるお金がないなど様々な方が利用されています。実際に私たちが見学をさせていただいた日も3組の方が利用されていました。思っていたよりも利用者が多く驚きました。また、ジェイコブスハウスは家の中の家具も全て寄付によるものでした。他にも、子供が遊ぶスペースがあり、そこに置いてあった絵本も寄付が集まったものであることを知りました。ジェイコブスハウスには、キッチンもあつて、温かい雰囲気です。本当の家のようでした。利用者へのいろいろな配慮があり、建物内も常にきれいに整備されている状態でした。日本には、こういう場所が少ないですが、自分も誰かのために寄付やボランティアを積極的にできる大人になりたいなと思えました。

大山中 2年

堯山 真希

私はもともと友達とコミュニケーションを取ることに苦手なので、それを英語ですることはとてもハードルが高いことでした。でも、ホストファミリーのお母さんがいろいろな質問を考えてくれたので、なんとか会話することができました。しかし、相手が何を言っているか分から

思いました。それ以外の間は、大山町と交流をしており、良い関係を築いてきたからなのだと思います。



ごい食欲だと思いました。その不安になるほどでした。しかし、そんなハンバーガーを隣でバディの学生が余裕の表情で食べきり、す

好きな食べ物と一緒に食べ



謝を伝えたいです。

ず黙っている、「英語が分からなくて黙っているのか、体調が悪くて黙っているのか分からないから黙るのはやめて」と言われました。そして「分からなかったらwhat?と言って」と言われました。それから「what?」と言うと優しく簡単な単語を使って教えてくれました。ホストファミリーとの会話をするうち、以前より英語が上達したと感ずるようになりました。

次の日にはぎこちなかったけれど、自分から話しかけられるようになりました。そして、今まで練習してきたスピーチやプレゼンを発表しました。その後の文化交流では、私自身とても興味のある服の染色だったので楽しく活動できました。文化交流をする頃には、たくさん友達ができていました。私の目標はたくさん友達をつくる事だったけれど、思ったよりスムーズにできました。でも、それは長い間、大山町と交流をしており、良い関係を築いてきたからなのだと思います。

大山中 2年

川上 陽

一番印象に残ったことは、生活についてです。僕がいたからかもしれないが、朝6時くらいにはすでに家族全員が起きていて、みんな朝食をとっていたので、アメリカの人は朝が早いという印象です。今まではアメリカの人は自由に起きて、それぞれがゆったりとした生活をするイメージだったので驚きました。

2つ目は、食生活です。アメリカの朝食はマフィンのような、日本ではデザートと言われるようなものが出てくるが多かったため、昼前にはお腹がすいてしまうことが多々ありましたが、油っこくなくさっぱりとしていて美味しかったです。

一番驚いたのは、店で注文して出てくる食べ物のサイズとアメリカ人の食欲です。インアウトバーガーという店で注文したハンバーガーは日本ですべてのサイズの約1.5倍もありました。ご飯の量が多いと聞いていましたが、想像以上で食べきれないのか不安になるほどでした。しかし、そんなハンバーガーを隣でバディの学生が余裕の表情で食べきり、すごい食欲だと思いました。

中山中 2年

高橋 優歌

マルガリータミドルスクールが印象に残りました。スクールポリスが配置されていたり、教科書が貸出し制であることや、授業が行われる教室に生徒が移動することなど、日本の学校との違いを感じ、驚きとワクワク感がたまりませんでした。また、授業内容に追いつけなかったり分からない子がいたら、生徒同士で教え合うという仕組みがとても優しいなと思いました。とてもきれいで学びやすく過ごしやすい設備がそろって、ここに通って勉強してみたいと思いました。

私は、ホストファミリーに焼きそばを作ってもらいました。アメリカのスーパにはスライスのお肉は売っていないので、肉のかわりに海老を使いました。シーフード焼きそばを上手く作ることができて安心しました。食べる時には「いただきます」を教えてあげました。デザートはモーガンと2人でマンガーを食べました。2人で好きな食べ物と一緒に食べ

た時間はとても幸せでした。

中山中 2年

露木 千聖

テメキュラの人は年齢や国籍に関係なくたくさん話しかけてくれる、とてもフレンドリーな方たちばかりでした。私の全うできていない英語を聞き取って分かるように努力してくれましたので、とても嬉しかったです。私が日本料理を作るときも「手伝おうか?」とみんなが交代で聞きに来てくれたり、「あなたが楽しいと思うことをすれば良い」、「この家での生活を楽しんでほしい」と言ってくれさり、とても楽しく内容の濃い9日間になりました。そして、これらの楽しかったこと、嬉しかったことは全てホストファミリーのおかげだと思えました。

今回の研修で素晴らしい経験をさせていただいたことに感謝をします。テメキュラの方々は大山町との交流をこれからも続けてほしいと本当に思っておられるのが伝わりましたし、この素晴らしい研修をこれからも続けてほしいので、私はこの活動を応援し続けます。今回の交流に関わってくださった全ての方に感謝を伝えたいです。

第12回 大山町総合文化祭

「文化の香りあふれるまちづくり」

～大山の歴史と恵みに^{いだ}抱かれて～

10月26・27日に中山農業者トレーニングセンターで大山町総合文化祭を開催しました。

両日ともほぼ好天に恵まれ、多くの来場者でにぎわい、ステージ発表、個人や団体の作品展示や物販など、さまざまな「秋」を演出しました。



▲特別展 朝倉弘平さんのギャラリートーク



▲合唱団まゆの美しい歌声



▲にぎわう大山の恵み自慢市



▲出店にご協力いただいた米子南高の皆さん



▲力作が並んだ展示会場

お知らせ 来年度の展示テーマは

多くの皆さまに目標をもって作品制作に取り組んでいただけるよう、来年度から展示作品のテーマを設けることにしました。

次回コンセプトは「平和」です。制作される皆さんの想いで、テーマからイメージを広げてください！

来年も数多くのご出展をお願いいたします。

第13回 大山町総合文化祭 展示テーマ
『平和とオリンピック』

秋を満喫！「大山町まるごと講座」

10月10日 中山公民館

中山にある宝物の再発見と体験をテーマに、第4回大山町まるごと講座「デイスカバリー中山」を行いました。

今回は「まぶや」、中山神社、二本松ゴルフ練習場などを訪ねました。

まず、逢坂地区の「まぶや」で、話題になっているジビエを使った「大山いのししキーマカレー」を堪能したあと、束積にある中山神社を訪ねました。



▲「まぶや」で昼食

境内では、大山自然観察員でもある驚見教育長から解説を聞きました。ケヤキやイヌマキの大木、一両、十両、百両、千両、万両などの種類豊富な草花を見つけ、古くから「大森大明神」と呼ばれてきた中山神社の植叢の豊かさにもふれました。

汗入農免農道に架かる鴻橋で、橋からの絶景を眺めた後、二本松ゴルフ練習場へ移り、芝のコースでパターゴルフを楽しみました。

絶好の日和で、参加者からは「楽しかったー」の聲が飛び交い、中山の宝や秋を発見する充実の講座となりました。



▲一両、十両、百両、千両、万両を発見！

11月4日 名和公民館

第5回大山町まるごと講座「大山町魅力探訪〜開拓名和編〜」を行いました。秋晴れの中、第5回目の講座では、名和地区内の開拓地を訪ねました。

参加者は、開拓地の集落や神社、各分校跡、陣構茶加工所などを巡りながら、その昔、山林・原野を切り開き、時代の流れに寄り添いながら、さまざまな農産物の生産に取り組み、それらを活かした加工品を生み出すなど、明日を見出してきた人々の軌跡に触れ、感慨深い講座となりました。

また、乗馬体験やりんごのもぎ取り体験も行い、「まちの宝」を再発見する機会になりました。



▲開拓碑の前に先人の想いに触れる皆さん

わが家の家読



子どもが小さい頃は、いつも両親が読み聞かせをしていました。乗り物の本が大好きで、自分で選んで、読んでくれと言って持ってきていました。今は、子どもが年長になったので、親の読み聞かせは寝る前だけで、あとは自分で読んでいます。

ブックスタートでは「もうおきるかな?」「しろくまちゃんほつとけーき」を、ブックセカンドでは「おふるだいき」をもらい、親子でとても好きで、よく読みました。今は、大好きな乗り物の本と「ねぎぼうずのあさたろう」や「じごくのそうべえ」を読んでいます。

また、だじやれの載っている本や、保育園で人気のおぼけずかんシリーズもお気に入りです。一人で声に出して読んでいます。ときどき本に載っていただじやれを家族に教えてくれて、みんな大笑しています。

〈家読にお薦めの本〉

『ねぎぼうずのあさたろう』

(一、二)



知って安心 「健康生活」の手がかり



お役に立ちます

誰しも、健康について気になることや不安に感じることがあると思います。インターネットで何でも調べられる時代ですが、その中の情報が本当に正しいかどうかや、もっと詳しく、もっと広く知るために、図書館の本をご利用ください。図書館では、健康づくりや予防について、病気や薬についての情報を提供できるよう、いろいろな図書資料を揃えています。

ご案内します

読みたい本が見つからない時や、もっと詳しい情報がお知りになりたい時は、図書館職員にお気軽におたずねください。館内をご案内したり、他館から取り寄せたりもいたします。

お知らせ 年末・年始のお休みについて
 本館：12月30日～1月6日まで閉館
 名和・大山分館：
 12月29日～1月3日まで閉館

「闘病記文庫」

実際に、病気を経験した人の闘病記を置いています。「がん」をはじめとして、37種の病種ごとに分類しており、すぐに探すことができます。（令和元年9月末現在 314冊所蔵）



とつげきお話隊による
「サンタに会いにおいて クリスマスお話し会」
 (名和公民館)
 12月15日(日) 13:30～14:15
「てんぐちゃんのおはなし会」(大山公民館)
 12月21日(土) 11:00～11:30

図書 の紹介

一般・文学

- ☆たそがれダンサーズ / 桂 望実
- ☆明智光秀 / 菊池 寛
- ☆妻の終活 / 坂井 希久子
- ☆オートリバーズ / 高崎 卓馬
- ☆罪と祈り / 貫井 徳郎
- ☆シークレット・ペイン / 前川 ほまれ
- ☆屑の結晶 / まさき としか
- ☆魔女の不在証明 (アリバイ) / エリザベス フェラース

その他

- ☆人生のサバイバルカ / 佐藤 優
- ☆お風呂自慢の宿 / 舵社
- ☆まちの未来をこの手でつくる / 猪谷 千香
- ☆クックパッド防災レシピBOOK / 扶桑社
- ☆脳卒中の再発を防ぐ本 / 平野 照之



- ☆日々のかっぱう着 / ブティック社
- ☆60歳からのひとり旅鉄道旅行術 / 松本 典久
- ☆ラグビーは3つのルールで熱狂できる / 大西 将太郎
- ☆ねずみ年のゆる文字年賀状 / 宇田川 一美

郷土

- ☆日南X / 松本 薫

児童書・絵本

- ☆こども六法 / 山崎 聡一郎
- ☆おじいちゃんの小さかったとき / 塩野 米松
- ☆巨大空港 / 鎌田 歩
- ☆ふたご探偵 3 / ペニー ワーナー
- ☆そっくりこ / 中川 ひろたか
- ☆ゾウ / ジェニ デズモンド
- ☆そらまめくんおやすみなさい / なかや みわ
- ☆おつきさまひとつづつ / 長野 ヒデ子



人権週間の取り組み

「すべての人間は、生まれながらに自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である」。これは「世界人権宣言」の第1条です。

「世界人権宣言」は、基本的人権及び自由を遵守し確保するために、世界の人々とすべての国々が達成すべき共通の目標として、1948（昭和23）年12月10日の第3回国際連合総会において採択されました。また、2年後の1950（昭和25）年12月4日の第5回総会においては、「世界人権宣言」採択を記念して12月10日を「人権デー」と決めました。

我が国においても、1949（昭和24）年から毎年12月10日を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、人権尊重に向けた啓発活動が全国で行われます。

今年度は、12月4日（水）～10日（火）までを「第71回人権週間」として、啓発活動重点目標「みんなで築こう 人権の世紀」を考えよう相手の気持ち 未来につなげよう 違いを認め合う心」のもとに、全国で取り組みが進められます。

○人権・同和教育推進大会

大山町では、12月7日（土）に、保健福祉センターなわで『大山町人権・同和教育推進大会』を行います。

詳しくは、下記をご覧ください。たくさんの参加をお待ちしています。

○12月4日 特設人権相談所開設

本町では、12月4日（水）に特設人権相談所を開設し、人権擁護委員が相談に応じます。相談は無料で、秘密は固く守られます。

【中山地区】…役場中山支所

13時30分～16時

【名和地区】…人権交流センター

9時00分～12時

【大山地区】…大山公民館

13時30分～16時

※その他にも毎月1回定例の「人権相談日」を設けています。「広報だ いせん」の行事カレンダー、または防災行政無線でご確認ください。

大山町人権・同和教育推進大会

【日時】12月7日（土）13：30～16：30

【場所】保健福祉センターなわ（開場13：00）

【内容】

13：30～ 人権作文コンテスト表彰&朗読

14：40～ 講演「世界における人権擁護と差別禁止の潮流と大山町条例」
 講師／金 尚均さん
 （龍谷大学法学部 教授）

15：00～ シンポジウム

「差別解消条例の制定を考える～思いやりや親切で差別なくなるの？～」

コーディネーター／金 尚均さん
 登壇者／角南 圭祐さん

（共同通信社会部 記者）
 竹口大紀（大山町長）ほか



人権イメージキャラクター
 「人KENまもる君・人KENあゆみちゃん」

【その他】

託児を設置します。希望される場合は、人権推進室にお申し込みください。

手話通訳もあります。

【問い合わせ先】福祉介護課人権推進室

☎0859-54-2286

FAX 0859-54-2413

大規模酪農施設が竣工しました

大山町羽田井において「株式会社 ブッシュクローバーズ」が整備していた大規模酪農施設の竣工式が、10月22日に関係者や来賓など約80人が出席して行われました。

この施設は、国庫補助事業の畜産クラスター事業を活用し、約6・2haの敷地に搾乳牛舎2棟、乾乳牛舎1棟とパーラー舎、堆肥処理施設などの関連施設が建設されました。



▲竣工式でテープカット

牛舎は牛を繋ぎ留めないで飼育するフリーストール方式、パーラー舎は一度に40頭搾乳できるロータリーパーラーが整備されており、乳牛飼育頭数約600頭、年間生乳生産量約5,900トンが計画されています。

県内の畜産農家や牛の飼育頭数が減少する中で、生乳生産量の増加や農地の有効利用、地域の雇用の増加に大きな期待が寄せられています。

御来屋駅ホームに壁画が完成

御来屋駅ホーム東側コンクリートブロック壁の壁画が、老朽化で色あせていたため、新たな壁画制作を名和中学校美術部に依頼しました。

応募のあった作品の中から3年生の薄田幸奈さんの作品が選ばれ、美術部有志21名が夏休み期間中に完成させました。

壁画には、大山町の特産品や御来屋から見える大山等がカラフルに描かれています。



▲手嶋所長から感謝状を受け取る竹口町長

かれています。

除幕式が11月13日にあり、薄田さんは、「色の配合が難しかったが、満足のいく壁画になった」と笑顔で話されました。

JRまたは御来屋駅をご利用の際には、ぜひご覧ください。



▲「御来屋へようこそ！」 名和中学校美術部の皆さん

鳥取県知事から町へ感謝状

県民税・市町村民税は、行政サービスに必要な費用を広く住民の方々に負担していただくもので、市町村が賦課・徴収を行い、県へ払込みを行っていただきます。本町では、県民税の徴収及び払込みにおいて、平成27年度から30年度まで4年連続して前年度を上回る実績が評価され、10月17日に手嶋西部県税事務所長より感謝状を受贈しました。

今後とも適正な課税及び公平な徴収に努めてまいります。

環境保護に関心を！ （野鳥巣箱コンクール）

10月3日に「第56回西部地区野鳥巣箱コンクール」の審査会が行われました。

このコンクールは、野鳥保護の理解と関心を深める目的で行われているもので、西部地区の小・中学校から多数の応募があり、入賞作品54点が選出されました。入賞作品は全県の「野生動物のすみかコンクール」に出品されます。

大山町関係の入賞者は次のとおりです。

【大山町長賞】

浅田翔生さん（大山西小）

中田花菜さん（大山中）

【大山町教育長賞】

西川健太さん（大山中）

椎木穂晶さん（大山中）

【西部町村会長賞】

梅林史皇さん（大山中）

【新日本海新聞社社主賞】

飯田宇紀さん（大山中）



ありがとうございます！ 大山の自然環境保護活動へ 寄付

琴浦町にある大山乳業農業協同組合（小前孝夫 代表理事組合長）から、9月29日に行われた「第21回大山まきば祭」の売り上げの一部を、大山の頂上を保護する会（会長・竹口大紀）に寄付していただきました。

贈呈式が10月17日に行われ、小前組合長は「大山の自然環境をよくしたいという思いで今年も寄付します」と話されました。



▲竹口町長に目録を手渡す小前組合長(右)

国の重要文化財門脇家住宅

秋の一般公開

国の重要文化財門脇家住宅秋季一般公開が11月1日から4日まで行われました。

一般公開にあわせて、若手作家による寄木細工作品やギター・木工家具などが特別に展示され、250年前の建物に調和した素晴らしい展示となりました。

門脇家当主や保存協力会員による展示物などの解説に、来館者は熱心に聴き入っていました。



▲若手作家製作のテーブルとギター

また、公開期間中は、所子町並み保存会ボランティアガイドによる「ところごとコトコ町並歩き」が行われ、一般公開に訪れた皆さんから好評を得ました。



▲「ところごとコトコ町並歩き」の様子



▲収蔵品の古い屏風の前で

町長の『余白に書かせて!』



菅義偉内閣官房長官が、11月4日に大山を視察され、その対応をさせていただきました。

紅葉シーズンでもとくにぎわっていた大山。「令和おじさん」として幅広い世代に浸透している菅官房長官の登場で、大山参道市場周辺は建物の外観が見えないほどの人だかりができました。

テレビや新聞報道などで拝見する際は、あまり笑顔を見せない長官も、大山では終始おだやかな表情だったのが印象的で



した。

「インバウンド対応」「空き店舗の活用」「廃屋の撤去」「事業者との連携」など、環境整備や官民連携に関するキーワードに対して、長官から反応や質問が返ってくる方向があったので、国の進めている方向性が再確認できたように感じました。

今後も、国立公園満喫プロジェクトや上質化事業など、国や県と連携して大山の魅力向上に取り組みたいと思います。

(文責／町長 竹口大紀)

暮らしに役立つ情報や最新の消費生活トラブルをお伝えします。知っておくと適切な対応ができます



はい! 消費生活相談窓口です

古い灯油を使ったら 石油ストーブが故障!



***変質した不良灯油は使わないでください。**

【事例】

新しいストーブを購入して2日後、消火しようとした際に、操作つまみがあがらず、緊急ボタンも作動しなかったために、新品と交換してもらった。3か月後も同じような状況になり、見に来てもらった。販売店からは、昨シーズンの灯油を使ったのではないかとされた。

(70代 女性)



【アドバイス】

- 灯油は、保管方法を誤ると日光や熱により変質、水や異種の油などの混入により「不良灯油」になることがあります。
- 不良灯油を石油暖房機器に使用すると、少量でも異常燃焼や機器の故障につながり危険です。
- 保管するときは、必ず灯油専用容器に入れ、日光や雨のあたらない場所に保管しましょう。
- シーズン中に使いきれなかった場合や、長期保管し変質の可能性がある灯油は使用せず、購入した石油販売店に相談をして安全に廃棄しましょう。

【参考：国民生活センター 見守り新鮮情報】

*お気軽に消費生活相談窓口をご利用ください。

大山町役場住民課

☎ 0859-54-5210 (平日)

鳥取県消費生活センター

☎ 0859-34-2648 (平日・土日)

償却資産申告書の提出は

1月31日(金)までです

町内に事業用資産を所有している個人または法人は、毎年1月1日現在で所有する償却資産の申告が必要です。期限内の申告にご協力ください。特に、確定申告で事業の必要経費に減価償却費を計上される場合は、この申告漏れがないか、ご注意ください。

◆対象となるもの

その事業のために用いることのできる機械・器具・備品などで、耐用年数が1年以上で1品あたりの取得価額が原則10万円以上のもの

※自動車税・軽自動車税の対象になるものは、償却資産の対象になりません。

これまでに申告をされたことがない方でも、事業用の資産をお持ちであれば対象となりますので申告をしてください。

※申告書は税務課及び各支所総合窓口にあります。

申告対象となる償却資産(例)

〔農業〕

乾燥機、動力噴霧器、堆肥舎、定植機など

〔漁業〕

漁船、漁網、魚群探知器、無線機など

〔小売店〕

商品陳列ケースなど

〔理容業・美容業〕

理美容椅子・洗面設備・サインポールなど

〔飲食店〕

厨房設備、レジスター、冷蔵庫など

〔再生可能エネルギー発電事業〕

太陽光パネル、架台、附属装置など

◆提出期限

1月31日(金)

◆提出先

税務課、各支所総合窓口

◆問い合わせ先

税務課

☎0859-54-5208

飼い猫の不妊・去勢 奨励事業

公益社団法人鳥取県獣医師会では、春に引き続きこの事業を実施します。

希望者は、事業実施動物病院へ直接申し込んでください。

詳しくは、公益社団法人鳥取県獣医師会、または住民課にお問い合わせください。

◆助成金額

不妊手術 4,000円
去勢手術 2,000円

◆申込期限

令和2年2月15日(土)

◆問い合わせ先

公益社団法人鳥取県獣医師会

☎0857-53-4300

住民課

☎0859-54-5210



スマホや パソコンで申告を!

専用のIDとパスワードがあれば、マイナンバーカードやICカードリーダライタがなくてもスマホやパソコンからe-Tax申告が可能です。

専用のIDとパスワードは、本人確認を行い発行しますので、運転免許証など本人確認ができる書類を持って、早めに米子税務署で手続きをお願いします。(これは、マイナンバーカードが普及するまでの一時的な措置です。)



◆問い合わせ先 米子税務署

☎0859-32-4121

大山町子育て支援センター「なかよしひろば」

クリスマス会

12月のなかよしひろばは、クリスマス会を行います。
今年もサンタクロースがやって来てくれるかな？
みんなで楽しいひとときを過ごしましょう。
ご参加をお待ちしています。

ミュージックユニット
「えんどうまめ」の
ミニコンサートも
あります



- ★日 時 12月19日(木)
10:00～11:30(受付9:30～)
- ★場 所 保健福祉センターなわ
- ★申込方法

人数の把握のため、各支援センターの申込用紙、電話、母子健康手帳アプリ、申込みメールフォームから参加の申し込みをお願いします。

締切りは12月12日(木)です。

- ★その他
動きやすい服装で、お茶などを持ってお出かけください。

★申込み・問い合わせ先

- 子育て支援センターなかやま
☎0858-58-6062
- 子育て支援センターなわ
☎0859-54-2395
- 子育て支援センターだいせん
☎0859-53-1157



第2回

幼児食講習会

～プレ給食 DE すくすく幼児食～

参加者募集
定員 15組

第1回講習会(6月に実施)では、幼児食の進め方を学んだあと、調理実習を行い、保育所給食人気メニューを参加親子みんなで試食しました。参加者からは、「食べさせる工夫が参考になった」「実際に作ってみることがよかった」と好評でした。第2回目の講習会を下記のとおり実施します。

みなさんのご参加をお待ちしています！

- 日 時：12月17日(火) 10時～12時
(受付：9時30分～)
- ところ：保健福祉センターなわ
- 対 象：生後10か月～2歳11か月児の保護者
(保護者の方のみの参加もOK)
- 内 容：講話、調理実習、試食
- 持ち物：エプロン、三角巾、マスク、筆記用具、
託児の際に必要なもの(※ごきょうだい分の軽食は各自でご準備ください)
- 申込み：①電話または②メールフォームからお申込みください。
- ※お子さんの氏名・年齢・アレルギーの有無・託児の有無・困り事(あれば)をお知らせください。
- ※申込多数の場合は、初めての方を優先させていただきますことをご了承ください。
- 申込締切：12月9日(月)まで
- 申込み先：こども課
☎0859-54-5205



プラスチックごみの分別にご注意ください

可燃ごみは名和クリーンセンターで焼却処理されますが、不燃ごみは伯耆町にあるリサイクルプラザで処分されます。(リサイクルプラザは、個人が直接搬入することも可能です。)

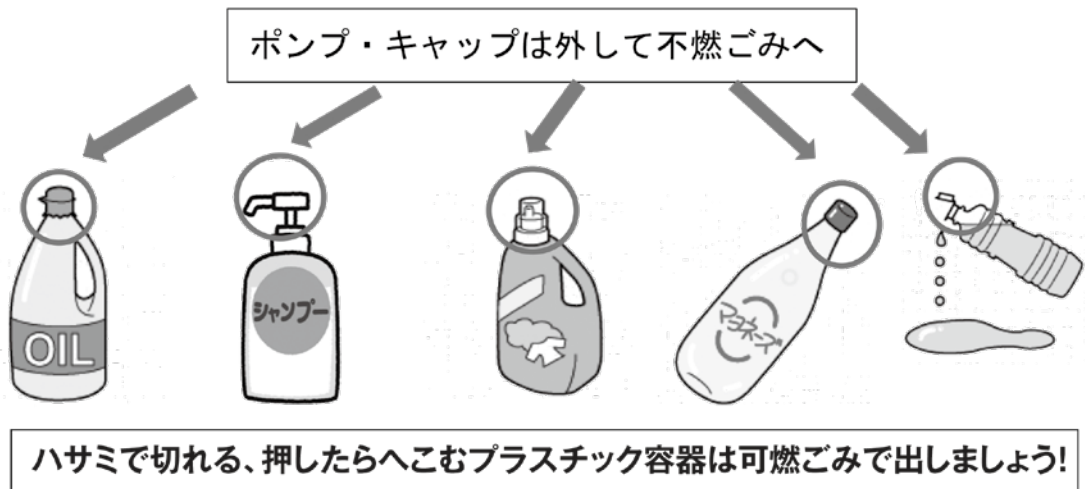
このごろ、リサイクルプラザで可燃ごみが混入している状況が多く見受けられるようです。不燃ごみの中に可燃ごみが交ざっていると業務に支障をきたします。

食用油のボトル、シャンプーやリンスの容器、洗濯用洗剤や食器用洗剤の容器など、ハサミで切れる、押したらへこむ程度の硬さのプラスチックは可燃ごみで出しましょう。キャップやポンプは、不燃ごみで出しましょう。

可燃ごみと不燃ごみの分別に、ご協力をお願いします！

*資源ごみ・不燃ごみ・不燃粗大ごみ・ペットボトルの直接持込の問い合わせ先
鳥取県西部広域行政管理組合リサイクルプラザ

☎0859・68・4071



道路にはり出した竹木の伐採のお願い

道路にはり出した木や竹は、自動車や歩行者の通行の支障になるとともに、強風や積雪により木や竹が倒れて、通行を寸断することもあります。

折枝・落枝等や樹木が道路にはみ出していることが原因で事故等が発生した場合は、所有者の方が責任を問われることがありますので、伐採等の適切な管理をお願いします。

また緊急の場合は、道路管理者が通行の支障となっている木や竹を了解なく伐採・撤去することがありますのでご理解ください。



◆問い合わせ先

建設課

☎0859・53・3186

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査にご協力を お願いします

大山町では介護予防に関するアンケート調査「介護予防・日常生活圏域二一ズ調査」を実施します。

調査結果は、令和2年度に介護保険事業計画をつくるための大切な基礎資料とさせていただきますので、みなさんのご協力をお願いします。

◆対象となる方

町内在住の65歳以上の方(要介護1～5の認定を受けている方をのぞく)のうち1,000人

◆調査期間

12月2日(月)～12月27日(金)まで

※調査票の発送は11月下旬を予定しています

◆調査方法

郵便で調査票を送付しますので、回答用紙を返信用封筒に入れて返送してください。

◆問い合わせ先

福祉介護課

☎0859・54・5207

会計年度任用職員の登録者募集について

令和2年度の役場・公民館・学校・保育所等の会計年度任用職員を募集します

大山町では、令和2年度の会計年度任用職員登録者を下記のとおり募集します。

「会計年度任用職員」とは、法律改正により、現在の臨時職員、嘱託職員等が移行するもので、従来通り登録制とし、登録された方の中から必要に応じて、選考の結果により採用します。

登録を希望される方は、所定の「大山町会計年度任用職員登録申請書」により登録の申請をしてください。

■受付期間

令和元年12月16日(月)～令和2年1月17日(金)まで

※年度途中での採用については、原則として登録をされた方の中から必要に応じて、選考試験を実施した上で採用します。なお、資格や専門的な知識が必要な方を採用する場合等については、必要により別途募集を行う場合があります。

■応募資格

- ・満18歳以上(令和2年4月1日現在)
 - ・住所要件はありません
 - ・応募できない人
- ①地方公務員法第16条に該当するもの
- ・禁固以上の刑に処せられ、その執行が終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
 - ・日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人
- ②日本国籍を有しない人で就労に制限のない在留の資格を取得していない人

■登録申込み方法

登録の申込みを希望される方は、「1 募集する業務」の番号1～10については登録申請書様式1を、番号11及び12は登録申請書様式2を提出してください。

登録申請書は、次の配布場所に置いています。指定の登録申請書に必要な事項を記入のうえ、「申請書提出先または問い合わせ先」にご提出ください。

採用については、書類選考及び面接選考を実施した上で決定をします。

〔様式の配布場所〕

総務課、中山・大山支所総合窓口室、教育委員会事務局、人権交流センター、保健福祉センターなわ

■任用期間

令和2年4月1日から令和3年3月31日
(最長1年間) 再度の任用あり

■申請書提出先及び問い合わせ先

この会計年度任用職員募集の詳細については、次の問い合わせ先に連絡してください。

○申請書提出先

総務課(役場本庁舎)
中山・大山支所総合窓口室
福祉介護課 人権推進室(人権交流センター)
教育委員会事務局(名和公民館)
福祉介護課・こども課・健康対策課(保健福祉センターなわ)

○問い合わせ先

番号1	総務課	☎0859-54-5201
番号2～5	福祉介護課 人権推進室	☎0859-54-2286
番号6	健康対策課	☎0859-54-5206
番号7・8	幼児・学校教育課 学校教育室	☎0859-54-5211
番号9・10	社会教育課	☎0859-54-5212
番号11	幼児・学校教育課 幼児教育室	☎0859-54-5219
番号12	こども課	☎0859-54-5205

■募集する業務

勤務先	番号	職種	必要な資格	担当課	様式
役 場	1	事務補助	不問	総務課	申請書様式 1
		道路作業員	不問	建設課	
		地域おこし協力隊	不問	企画課・農林水産課	
		文化財調査事務補助	不問	観光課文化財室	
児 童 館	2	厚生補助員	不問	福祉介護課 人権推進室	
中山ふれあいセンター	3	館長・生活相談員 指導員 休日及び夜間警備	不問		
人権交流センター	4	館長・生活相談員 指導員	不問		
中高ふれあいセンター	5	館長・生活相談員 指導員	不問		
診 療 所	6	看護師 准看護師 放射線技師	看護師資格 准看護師資格 放射線技師資格	健康対策課	
学 校	7	A 学校主事(学校用務)	不問	幼児・学校教育課 学校教育室	
		B 学校図書館司書	司書又は司書教諭資格		
		C 学習支援員	教員免許 不問		
教育支援センター (寺子屋)	8	A 教育相談員	教員免許 不問		
		B 教育指導員	教員免許		
公 民 館	9	A 公民館事務補助員	不問		社会教育課
		B 日直及び警備員	不問		
		C 夜間警備員	不問		
		D 清掃作業員	不問		
図 書 館	10	A 司書	司書資格	申請書様式 2	
		B 図書事務	不問		
保 育 所	11	A 保育士	保育士資格		幼児・学校教育課 幼児教育室
		B 保育補助	看護師資格 幼稚園教諭免許		
			不問		
C 調理補助	不問				
放 課 後 児 童 ク ラ ブ	12	A 指導員	保育士又は教員免許		こども課
		B 指導補助員	保育士又は教員免許 放課後児童支援員		
			不問		

※勤務場所及び勤務時間については、雇用ごとに決定します。

大山恵みの里だより vol.137

問い合わせ先
大山恵みの里公社
☎ 0859-54-6600

▼みくりや市 「ふるさと便」

JR御来屋駅舎にある「新鮮野菜直売所みくりや市」では、毎年人気の「ふるさと便」を今年も実施します。生産者がわかる安心・安全の旬の野菜や加工品をセットにして、宅配便でご指定先にお届けする商品です（セット内容はお任せになります）。遠くに住むあの人に「大山の食の恵み」を贈りませんか？



数量限定・予約制となっておりますので、みくりや市で事前のお申込みをお願いします。

【予約期間】

12月9日（月）～20日（金）

【発送日】

12月24日（火）

▼お正月の準備はみくりや市で

「みくりや市」では、この年末も、お正月に向けての花、しぶ木、餅、注連縄を特別販売します。どうぞ、ご利用ください。

【日時】 12月26日（木）～29日（日）
9時～お昼頃まで

※しぶ木、餅は事前予約を承ります。

【予約期間】 12月2日（月）～17日（火）

◆問い合わせ先
新鮮野菜直売所みくりや市
☎ 0859・48・4760
営業時間 9時～16時（日曜休み）

▼年末年始の営業は道の駅

定休▼12月31日、1月1日

※初売りは1月2日（木）10時から

【みくりや市】

12月29日（日）は14時閉店

定休▼12月30日～1月3日

※初売りは1月4日（土）から

道の駅 営業時間変更

12月1日～2月29日は、冬時間での営業となります。

道の駅営業時間／9時～17時

（食堂軽食メニューは9時30分～16時30分ラストオーダー）

2020年 農林業センサスにご協力ください

令和2年2月1日を基準日に、「2020年農林業センサス」が実施されます。

この調査は、今後の農林業の政策に役立てるために5年ごとに実施される極めて大切な調査です。

農林業を営んでいる皆様のごところに、令和元年12月中旬から調査員が訪問します。農林業の経営状況などの調査ですので、調査に協力をお願いします。

◆問い合わせ先
総務課

☎ 0859-54-5201

司法書士による

【無料法律相談会】

鳥取県司法書士会が無料相談会を開きますので、お気軽にご利用ください。（前日までに要予約）

◆日時 12月13日（金）18時～20時

◆場所 米子コンベンションセンター第1会議室

◆内容 相続・遺言、不動産の贈与・売買、商業登記、成年後見の申し立て、借金・多重債務問題など身の回りの法律問題

◆問い合わせ先
鳥取県司法書士会
☎ 0857・24・7024

忘れていませんか？ 加入義務
労働保険は
働く皆さんを守ります

法人・個人を問わず事業主の方は、正社員、パート、アルバイトといった形態に関わらず、一人でも雇ったら労働保険に必ず入らなければいけません。労働保険は従業員の安心と会社の安定のための保険です。

加入手続きをされていない事業主の方は、速やかに手続きをしましょう。

◆問い合わせ先

鳥取労働局 労働保険徴収室

☎ 0857・29・1702

ご存知ですか？ 小規模企業共済制度

小規模企業共済制度は、個人事業主（共同経営者含む）・会社等の役員の方が事業をやめられる場合などに備えて、あらかじめ資金を準備しておく共済制度で、「小規模企業の経営者のための退職金制度」といえます。

特徴は、①掛金が全額所得控除。掛金は、毎年所得控除の対象とすることができ、②事業を廃止する際に受け取る共済金も、退職所得扱い、または公的年金等の雑所得扱いとなるため節税効果があります。

制度の運営は（独）中小企業基盤整備機構が行い、商工会、商工会議所、青色申告会、金融機関の本支店などの窓口が取扱いをしています。

◆URL

<https://www.smrj.go.jp/kyosai/skyosai/>

◆問い合わせ先

中小企業基盤整備機構
050-5541-7171
(平日：9時～18時)

月1回中山温泉で映画を観ませんか？

◆12月上映作品

「きらめく拍手の音」

耳の聞こえない両親の日常を、健聴者である娘の視線からとらえたドキュメンタリー。

両親の青春時代や教会での出会い、子育て中のハプニング、夫婦で経営していた屋台の苦労などが手話を通して語られる。音のない世界と音であふれる世界のはざままで成長してきた監督と弟の経験など、家族4人の

静かだけど賑やかな暮らしを見つめていく。(2014年作品・80分・韓国)

バリアフリー・日本語字幕付



12月7日(土)10時/14時/18時半
大人900円 中学生以下500円 入館料別
なかも温泉 (UIC内番708)
TEL 0858-49-3330 mail:crpa@daishan.com

◆日時 12月7日(土) 10時/14時/18時半 3回上映

◆料金 大人 900円

中学生以下 500円

未就学児 無料

◆場所 中山温泉生活想像館

わくわくホール

◆問い合わせ先 中山温泉

0858-49-3330

◆共催 鳥取県手話サークル連絡協議会、ええがな大山実行委員会

後援 大山町、大山町教育委員会

大山チャンネル 12月の主な放送内容

(6:00 / 9:00 / 12:00 / 15:00 / 18:00 / 21:00 / 24:00)

※初回のみ12時スタート

大山チャンネルはデジタル113ch

12/1～、12/11～

◆「PICK UPだいせん」

暮らしに役立つ情報、集落行事、地域の話題、町民の活動などをたっぷりお届けします。「集落発！ご近所ニュース」、大山町の知られざる歴史や逸話に迫る「大山伝説」、町民の夢に密着する「17000の夢」など、特集企画もお楽しみに！

12/21～

◆「年末スペシャル！ 大山町の奇跡2019」

人口減少、少子高齢化、後継者不足など様々な問題を抱える中、ふるさとの未来を切り開こうと奮闘する人たちがいます。番組では、2019年地域に大きな変化をもたらした“大山町の奇跡”に密着！その舞台裏や知られざる思いに迫ります。

- 集落の荒地が人気スポットに変身！全国から若者が訪れるワケとは！？
- 全国の自治体がびっくり！大山町の人口問題に奇跡！？

◎番組の情報を Facebook で配信中。

「大山チャンネル」で検索&フォローお願いします。

<https://www.facebook.com/daisenchannel/>

◆番組への情報提供・問い合わせ先

アマゾンラテルナ鳥取大山オフィス

0858-58-2318



◆なかやま温泉
☎ 0858-49-3330

こんにちは。なかやま温泉ゆー
ゆー倶楽部ナスパルです。今年も
早いもので残り1か月となりました。
慌ただしい時期ですので、皆
さん体調管理にはお気を付けてく
ださい。

疲れた体と心のリフレッシュに、
ぜひ、なかやま温泉をご利用くだ
さい。

★通信カラオケ機器

試験運用開始

ご利用者の方々からのご要望に
お応えすべく、このたび、通信カ
ラオケ機器を試験導入しました。
「うたと音楽」を使った機能訓練や
介護予防体操などの機能が搭載さ
れています。

近年、歌うこと（カラオケ）が
健康寿命の延伸に効果的だと注目
されていますので、集落やグルー
プでカラオケ大会を開いたり、健
康増進に利用してみられてはいか
がでしょうか。

12月14日にわくわくホールで、
カラオケ交流会を行います。どう
ぞお気軽にご来場ください。

『中山温泉カラオケ交流会』

【とき】 12月14日（土）

【場所】 中山温泉わくわくホール

【時間】 10時～17時（昼休憩あり）

【料金】 出場・観覧無料

※詳細は、なかやま温泉ホームペ
ージに掲載

<http://www.kik-kaike.com/naspa/>

☆12月のイベント情報☆

『中山温泉朝市』

【日時】 12月1日（日） 9時～11時

【場所】 中山温泉館展示ホール

『ナスパルシアター』

上映作品『きらめく拍手の音』

【日時】 12月7日（土）

【場所】 中山温泉わくわくホール

【時間】 10時・14時・18時半

【料金】 大人900円

中学生以下500円

未就学児 無料

★毎月26日は『お風呂の日』です

ポイント3倍。ご入浴のお客様
全員に空くじなしの抽選会、お子
さまは、受付スタッフとのジャン
ケン大会をお楽しみください。

拉致問題を考える講演会 とコンサート in 鳥取

- ◆日時 12月15日（日） 13:30～16:25
- ◆会場 鳥取市民会館
- ◆講演 「拉致問題と人権」
～夢と絆を奪われて～
講師 / 蓮池 薫さん
- ◆コンサート ブルーマウンテン・ジャ
ズ・オーケストラほか
- ◆問い合わせ先 鳥取県人権擁護委員
連合会（鳥取地方務局内）
☎ 0857-24-5678

編集後記

いよいよ12月、師走ですね。師走
以外にも12月の呼び名があるのをこ
存じですか。陰暦では、10月から
12月が「冬」になります。冬の最
後の月になることから「晩冬」、10
月から3番目の冬の月になるので
「三冬月」などと言うそうです。師
走よりも落ち着いた感じがします
し、雪が似合いそうな雰囲気がしま
す。

昨シーズン、ほとんど雪かきをす
ることがなかったのですが、今年は
どうでしょうか。暖冬ではと予想さ
れていても、スコップや雪対策の
グッズだけは、忘れず買いに走って
おかねば！どちらかというと、師走
のほつが私には合つのかも。（ひろ）



大山町広報 12月号

◆発行：大山町役場

◆編集：総務課

※eメール

soumu@daisen.jp

鳥取県西伯郡大山町御来屋328番地

TEL 0859-54-3111

FAX 0859-54-2702

大山町ホームページ <https://www.daisen.jp/>

◆印刷：東京印刷株式会社

私たちのまち（11月1日現在）

○人口；16,233人（-8）

男：7,853人（-2）

女：8,380人（-6）

○世帯数；5,758世帯（8）

今月の税・保険料

固定資産税（3期）

国民健康保険税（7期）

納期限 **12月25日（水）**

※期限までに納めましょう